



正月の出来事

学 園 長 小 島 澄 人

元旦、職員室を開けようとしたが、いつもの所に置いていたスリッパが片方ありません。家から職員室まで10M、その間に足が止まりました。立派な狸が私をお迎えします。じっと見ています。近づくと2、3歩下がります。可愛らしいふっくらした狸でした。もしかして？片方のスリッパ、出会った所に戻ると、かじられたスリッパがあります。すると、職員室を訪れた夢の森の先生が池の周りで4匹の狸を見た、画像を見せてくれました。翌日です。5匹の狸に出会いました。池の周りを仲良く散歩しています。逃げようともしません。のんびりとした何かのどかな光景でした。よく見かけます狸はいつも一匹でしたので、山の何処からかやって来たのだと思っていましたが、園内のどこかに住み着いているのかも知れません。狸を見ていると、空がチュンチュンと、見上げると小鳥がいっぱいいます。池の周りの大きなモチノキにやって来ます。3本見事に育ったモチノキ、赤い実を付けていますが、それを食べにやって来ます。様々な小鳥がいるようで、本当に賑やかです。幼稚園に入った頃、近くのだるま市で買った小さな苗でした。小さな苗、それがモチノキでした。それを眺めながら40年前を思い出しました。いろんな果樹を裏山に植えていき、いろんな実を収穫できるようになりました。実が育つまでは長年を要するが、一昨年植えた、小野路の柿、ミカンの木、その育ちが楽しみです。その時は子どもたちと保護者の皆で収穫に行きたい、その時は私はもういないかも知れないが、幼稚園の1つの夢です。

狸、よく見かけたのは夢の森を建設した頃かな、毎晩夜遅くまで、作業した頃でした。何匹もの狸に出会い、その中での作業、大変でしたが、よく頑張りました。その頃を知る人はあまりいませんが、夢の森のテーマが「森は友だちだ、森はせんせいだ!」、人も近づかない荒れた山でした。いつまでも大事にしてほしいものです。

玉川中央の広場もそうです、無理をして買い求めた「小鳥の森広場」です。そして一昨年購入した「小野路農場」、柿の実学園、玉林学園、共遊の会、保育園の皆の農場です。教職員の力だけでは育たないかも知れないが、いつかは皆の宝になるに違いない。

幼稚園、幼稚園として存続していけるか解らないが、保育園、こども園として周りの幼稚園も体制が変わっていきませんが、柿の実だけは「幼稚園」として、最後まで残したくなりました。夢の森はこれからが踏ん張り所、自然を生かした「夢の幼稚園」に変身して欲しい。玉川中央幼稚園はこども園として充実してきました、これからが頑張りどころです。

新年を迎え、日々を幼児教育に専念し、子どもたちの笑顔溢れる場にしていきたい、皆さんと共に頑張りましょう。

